



第25回県中学校駅伝競走大会

山田中がアベックV全国大会へ



第25回岩手県中学校駅伝競走大会で、山田中学校(佐々木毅校長・生徒538人)が男女ともに優勝しました。男子は3年ぶり、女子は3連覇を成し遂げました。

大会は10月8日に花巻市で行われ、男子の部には県内各地区の代表40校、女子の部には41校が出場し健脚を競い合いました。

山田中男子は、3区まで上位につけると2位でたすきを受けた4区の昆充主将(3年)が区間新を出す快調な

走りでもトップを奪取。2位に26秒差をつけてたすきをつなぐと最後まで首位を保ち59分21秒でゴールしました。

同女子は、1区でトップに躍り出るも4区まで首位争いを繰り広げる激しい展開でしたが、アンカーの佐々木彩華さんが終盤にペースを上げて見事に逆転43分47秒でゴールし見事3連覇を達成しました。

男子の昆主将は「本大会はこのチームも実力は同じで不安でしたが皆さんの応援があつて3年ぶりに優勝できました。全国大会では上位入賞を目指し頑張りたい」、女子主将の上澤雛子さんは「地域の皆さんのおかげで3連覇できました。全国大会では今以上に力を合わせて良い成績を上げたい」と全国大会に向けて決意を新たにしています。全国大会は12月19日に山口市で開催される予定となっており、生徒たちの活躍に大きな期待が寄せられています。

【出場選手】

▽男子：昆充、内館航大、濱登貴也(いずれも3年)、三上瞬、佐藤貴大(いずれも2年)、阿部俊介(3年)

▽女子：上澤雛子、福士恵(いずれも3年)、佐々木彩華(2年)、倉本愛里(3年)、田村泉子(2年)

《敬称略》

第65回国民体育大会

本町の選手が大活躍

第65回国民体育大会は9月25日から千葉県で開かれ、ボート競技と相撲競技で本町選手2人が上位に入賞する素晴らしい活躍を見せました。

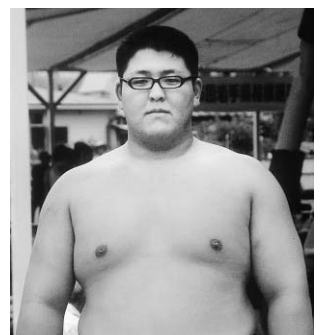
ボートシングルスカル 大釋選手(高田) 決勝進出

9月26日から行われたボート競技・少年男子シングルスカルに山田高校の大釋一揮君(2年)が出場しました。

8月に行われたインターハイに出場するなど経験豊富な大釋君。予選を2位で通過して臨んだ準決勝では、強豪ひしめく中、激しい首位争いを制し、決勝に進出。1000㍓を4艘で争った決勝では、後半500㍓ですパートをかけて3位に浮上しましたが、残り250㍓でペースが乱れ再逆転されてそのままゴール。わずかな差で4位に入りました。



大釋一揮君



五十嵐敦君

大釋君は「自分の力を出しきれなかったのが悔しい。次の大会ではこの経験を生かしさらにタイムを縮めて上位入賞したい」と熱く話していました。

相撲成年個人 五十嵐選手が5位入賞

9月26日から行われた相撲競技には、成年個人に五十嵐敦君(大東文化大4年)が出場。

恵まれた体格を生かした力強い相撲で順調に勝ち上がりました。準々決勝では、8月の東北総体のときに勝利した福島県の選手と対戦。立ち合いで激しくぶつかり合い組み合ったままの状態が続きましたが、力の均衡が崩れたところを払われて土俵の外に。惜しくも敗れましたが堂々の5位入賞を果たしました。五十嵐君は「自分の相撲が取れば結果は付いてくるので、残り少ない大会に力を注ぎたい」と抱負を述べていました。